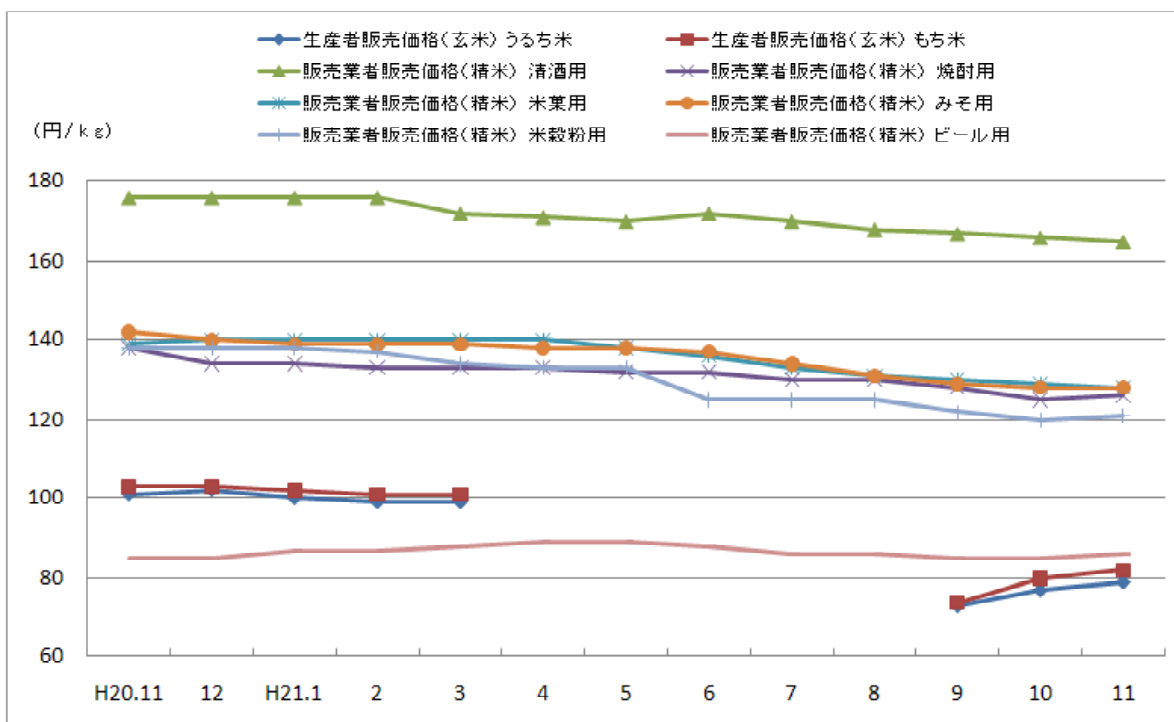


(3) 原材料用米穀(特定米穀相当品)販売価格の推移(全国)

平成21年11月の生産者の販売価格は、一部の取扱業者において取引価格が上昇したこと等により、前月と比較して、上昇している。

平成21年11月の販売業者の販売価格は、前月と比較して、小幅な変動はあるものの、前月と比較して、同水準となっている。

図7表5 原材料用米穀の販売価格の推移



区分		単位:円/kg												
		H20.11	12	H21.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
生産者販売価格(玄米)	うるち米	101	102	100	99	99	73	77	79
	もち米	103	103	102	101	101	74	80	82
販売業者販売価格(精米)	清酒用	176	176	176	176	172	171	170	172	170	168	167	166	165
	焼酎用	138	134	134	133	133	133	132	132	130	130	128	125	126
	米菓用	139	140	140	140	140	140	138	136	133	131	130	129	128
	みそ用	142	140	139	139	139	138	138	137	134	131	129	128	128
	米穀粉用	138	138	138	137	134	133	133	125	125	125	122	120	121
	ビール用	85	85	87	87	88	89	89	88	86	86	85	85	86

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」による。

注：1) 販売業者の販売価格は、販売業者が実需者(用途別)へ販売した価格(消費税込み)である。

2) 販売業者は都道府県ごとに、くず米の取扱数量の多い業者を対象とし、11月は76業者を調査したものである。

3) 用途別には、清酒用18業者、焼酎用27業者、米菓用54業者、みそ用41業者、米穀粉用16業者、ビール用47業者となっている。